

各位

会社名 株式会社GRCS
代表者名 代表取締役社長 佐々木 慈和
コード番号：9250 東証グロース
問合せ先 取締役 田中 郁恵
TEL. 03-6272-9191

2025年11月期 第1四半期決算 質疑応答集

この質疑応答集は、2025年4月14日（月）に発表した2025年11月期 第1四半期の決算情報開示後に株主・投資家の皆さまからいただいたご質問及び当社で想定しておりました質問についてまとめたものです。

ご理解いただきやすいよう、一部表現の変更や内容の加筆・修正を行っております。

Q 第1四半期業績は想定通りとみて良いでしょうか。

A 第1四半期の結果は、社内で計画した通りとなっております。昨年の第1四半期ではスポット案件の売上があったため、前年比で見るとマイナスの結果ですが、スポット案件分を除くと昨年対比で売上増加となります。

Q 通期業績予想達成に向けての確度はいかがですか。

A 現時点では計画通りに進捗しております。引き続き確実な予算達成へ向けて尽力してまいります。

Q 主力であるソリューション事業の進捗について教えてください。

A 新規顧客からの引き合いが多く、今期の売上に貢献する見通しとなっております。ニーズに応えられる人員の増強に取り組んでおり、採用状況も良好です。

Q プラットフォーム事業の今後の戦略はどのようなものでしょうか。

A 期初の計画どおり、引き合いの高い金融業界に注力しております。また保険会社との販売協力を開始しており、新規顧客獲得が期待できます。

Q

フィナンシャルテクノロジー事業は前年同期比マイナス成長のようですが、要因はなんですか。

A

2024年11期第1四半期は、スポット案件による業績寄与があり、昨年対比で見るとマイナスの結果となりました。現状は海外展開の準備や、案件の積み上げを順調に進めております。

Q

販管費が増加していますが、要因はなんでしょうか。

A

のれんの追加取得により78百万円の償却額が発生したため、販管費が増加しております。のれん償却額以外の販管費は2024年11期第1四半期と同水準となっております。

Q

新サービスの販売状況はいかがですか。

A

各事業でそれぞれ新サービスを計画しており、リリースしたものについては多くのお問合せを頂いております。営業力強化の体制も整え、引き続き事業拡大を進めてまいります。

以上

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されています。

これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証していません。